

麻しん風しん混合(MR)予防接種のお知らせ



1 対象者

定期予防接種

- ・1期：1歳（1歳の誕生日の前日）～1歳11か月（2歳の誕生日の前日）までの方
- ・2期：平成27年（2015年）4月2日～平成28年（2016年）4月1日生まれの方（小学校就学前の1年間）※2期については誕生日前でも接種可能

特別接種（定期予防接種を期間内に受けられなかった方への市独自の助成制度）

- ・2歳（2歳の誕生日の当日）～18歳11か月（19歳の誕生日の前日まで）までの方で、麻しん風しん混合又は麻しん単独・風しん単独定期予防接種を受けられなかった方
※2期対象者を除く

※麻しん・風しんのいずれか一方にかかったお子さんは、このワクチンを接種することができますが、麻しん・風しんの両方にかかったお子さんは、接種する必要がありません。

八王子市に住民登録がない状態で接種を受けると、**全額自己負担**となります。
なお、転出届の提出日ではなく、転出日から住民登録がなくなりますのでご注意ください。

2 接種回数 2回 ※特別接種の方は、回数不足分となります。

接種回数		無料で接種できる年齢
1期	1回	1歳～1歳11か月
2期	1回	平成27年（2015年）4月2日～平成28年（2016年）4月1日生まれの方（小学校就学前の1年間）

3 接種スケジュール ※特別接種の方は、このスケジュールと異なります。

無料で接種できる年齢	1歳～1歳11か月	平成27年（2015年）4月2日～平成28年（2016年）4月1日生まれの方（小学校就学前の1年間）
接種回数	1回	1回

4 予防する病気の特徴

① 麻疹(はしか) (Measles)

麻疹ウイルスの感染によって起こります。非常に感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染します。主な症状は、発熱、せき、鼻汁、目やに、発疹です。最初3～4日間程度、発熱が続き、一時おさまりかけたかと思うと、また39～40℃の高熱とともに発疹が現れます。高熱は3～4日で解熱し、発疹は3～4日で色素沈着を残して消失します。主な合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎があります。

② 風しん(三日ばしか) (Rubella)

風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。主な症状は、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹です。発疹、発熱は3日程度でおさまりますので『三日ばしか』とも呼ばれることがあります。主な合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などがあります。

大人になってからかかると重症になります。また妊婦が妊娠20週頃までに感染すると、『先天性風しん症候群』による先天性の心臓病、白内障、聴力障害などを持った赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。

※麻疹風しん混合予防接種は、英語表記の頭文字をとって、**MR**とも表現されます。

5 ワクチン接種の効果と副反応

【効果】

現段階では、麻疹・風しんの感染予防に有効な手段は、ワクチン接種しかないと言われています。

【副反応】

局所反応として、注射した部位の赤み、腫れ、しこり等があります。全身反応として、発熱と発疹があり、これは接種後4週間位まであらわれることがあります。非常にまれですが、アナフィラキシー(※)などの重大な副反応があるといわれています。通常反応のほかに何らかの異常(けいれん・高熱など)が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け、保健所健康政策課へ連絡してください。

※アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、息苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。

6 健康被害救済制度

定期予防接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。特別接種は任意予防接種で、八王子市独自の助成制度であるため、特別接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

【お問合せ先】

八王子市保健所 健康政策課 〒192-0083 八王子市旭町 13-18 ☎ 645-5102/FAX 644-9100